

令和6年度進捗管理 第2次飯塚市男女共同参画後期プラン 【管理指標】

No.	管理指標	H27年度末	目標値 (R3年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R8年度)	担当課	R5年度中に目標達成のために 行った取組	質問、意見	回答
3	「飯塚市男女共同参画プラン」について、少なくとも見たり聞いたりしたことがある市民の割合	22.4%	50%	7.5%	-	-	50.0%	男女共同参画推進課	市の出前講座の中でプランの紹介を行っている。	プランを見たり聞いたりした市民の割合を増やすために、どのような対策をするか説明してほしい。	市主催の講座でプランの紹介を行っていますが、可能な他事業での紹介も検討したいと思います。(男女共同参画推進課)
5	男女共同参画推進センター「サンクス」を知っている市民の割合	16.7%	50%	13.7%	-	-	50.0%	男女共同参画推進課	男女共同参画推進センター「サンクス」にて市民向け講座を実施した。	サンクスを知っている市民の割合を増やすために、どのような対策をするか説明してほしい。	R5での取組に加え、広報媒体を用いて「サンクス」を周知しているところです。(男女共同参画推進課)
8	市職員の女性の管理職の地位に占める割合 (特定事業主行動計画に基づく目標)	7.4%	15%	16.1%	10.4%	10.3%	課長以上 20%	人事課	女性職員のキャリアデザイン研修を開催し、キャリア形成への意識付けを行った。	登用率の数がほとんど伸びていないところを見ると、人事評価の中で多数を占める男性管理職が女性を部長職、次長職、課長職に推薦するようないかなるような、女性活躍推進に向けた体制づくりができていないの疑問を感じる。(ご意見のみ；取組内容に全文記載)	-
					31.7%	36.9%	課長補佐 30%				
					(33.5%)	(32.5%)	(係長 40%)				
26	「交友関係や電話やメールを細かく監視」することが「DVだと思う」市民の割合	男性：48.8% 女性：63.8%	男性：70% 女性：70%	男性：66.5% 女性：70.1%	-	-	男性 80% 女性 80%	男女共同参画推進課	DV対策庁内連携会議にてDV対策の現状を、担当課に伝えた。 ハートホン運動期間に市職に情報を提供し、女性に対する暴力の根絶を啓発した。	「交友関係や電話やメールを細かく監視」ことがDVと思うと答えた方が60〜70%という数値を見て、市民の皆さんにもう少し「暴力とは何か」「自分は暴力を受けていない存在ではないんだ」ということを知っていただく必要があるかと思えます。また飯塚市の取組を見るとDV対策はあげられています。暴力は結婚して(夫婦になつて)始まるものではないはず。結婚する前から、暴力的ではない「心地よい関係づくり」「対等な関係づくり」ができることで、DVも減少にむかうのではないでしょうか。「人権とジェンダーの平等を土台とした包括的性教育の推進」、「デートDV予防プログラムの推進」を期待したいです。	R5の取組で「デートDV」に関する啓発冊子を中学生に配付し、周知に努めました。また、過去には「デートDV」に関する講演会も開催しました。今後も機会を見つけ取り組んでいきたいと考えています。(男女共同参画推進課)